

## 平成27年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生先行型)実績一覧

【基本目標① しごとをつくり、安心して働けるようにする 11事業】						目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課
No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI				今後の方針	今後の方針の理由	
1	①-(1)-② 食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業	江別市内の食関連企業が実行委員会を組織し、実施する「美味しい江別・大人の食育」ブランド化プロジェクトin丸の内(東京)について、開催補助を行い、江別の食のブランド化及び販路拡大プロモーションを支援する。	1,792,000	1,791,220	商談会・催事出展市内企業数	30社	30社	マーケティングの視点に基づいた産業振興	事業内容の見直し(改善)	「美味しい江別・大人の食育」ブランド化プロジェクトは終了したが、引き続き東京等での販路拡大に取り組む必要がある。	経済部商工労働課
2	①-(1)-③ 商店街参入促進事業	コミュニティ活動啓発セミナーの開催により、高齢者や学生の商店街での活動参入を促し、参入済の経験者による参入希望者への継続的なサポート(相談支援)を実施する。	503,000	336,960	セミナー参加者数	50人	50人	地域に根差した商店街の魅力づくりの支援	事業の継続	活動意欲のある人と商店街のつなぎ役として効果的であり、今年度市内商店街が再整備するコミュニティスペースの活用に向け、継続して実施する。	経済部商工労働課
3	①-(2)-② 総合特区推進事業機能性食品開発支援事業	北海道情報大学が行う食の臨床試験に関する企業からの相談や普及啓発活動、試験結果の論文化に対する支援を行うことにより、市内外の企業による北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)の認定など、機能性食品の開発を促進する。	6,500,000	6,500,000	市内企業におけるヘルシーDo認定件数	1件	6件	付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援	事業の継続	目標を上回る認知件数となり、非常に効果的な事業であると判断したため。	経済部総合特区推進
4	①-(2)-② 江別産農畜産物ブランディング事業	当市において、これまで取り組んできた地域連携や商品化の成果を踏まえ、市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、それらの域内消費、市外への販路拡大を推進するための取り組みを支援する。	3,207,000	3,090,490	①特産物(小麦)の認知度 ②特産品(黒毛和牛)の認知度	①95% ②25%	①92% ②27%	付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援	事業の継続	地域特産品の維持・拡大につながり、消費や販路の拡大に効果があると判断したため。	経済部農業振興課
5	①-(3)-② 働きたい女性のための就職支援事業	市内ではパート・アルバイト等の女性労働力を求める企業が多く、潜在労働力の掘り起しが課題となっている。出産や育児により離職し、再就職を希望する女性等に対し、求人情報の提供や職場実習、就職相談などの機会を提供することにより、市内企業への就職を支援する。	26,897,000	25,044,852	①イベント来場者数 ②就職者数	①150人 ②50人	①110人 ②45人	潜在労働力の掘り起し(就労支援)	事業の継続	雇用環境改善により、市内企業の人材不足が顕在化している。これに対し、本事業は事業実績から十分な効果があると認められ、継続して取り組む意義がある。	経済部商工労働課
6	①-(3)-② 心身障害者自立促進交通費助成事業	市内には工場団地を有するほか、札幌市と隣接しており、障がい者雇用の受け皿となり得る企業が数多くある。それらの企業で就労可能な能力を身につけるため、交通機関を利用して訓練等を行う障がい者支援施設に通所するための交通費の1/2を助成し、障がい者の就労、社会参加の促進を図る。	5,007,000	2,104,290	助成者数	200人(延)	187人(延)	潜在労働力の掘り出し(就労支援)	事業の継続	就労を目指す障がい者の負担を軽減し、就労を促進する手段の一つとして非常に効果的な事業と判断したため。	健康福祉部福祉課

平成27年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生先行型)実績一覧

【基本目標① しごとをつくり、安心して働けるようにする 11事業】						目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課
No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI				今後の方針	今後の方針の理由	
7	①-(3)-② 障害者就労相談支援事業	市内には工場団地を有するほか、札幌市と隣接しており、障がい者雇用の受け皿となり得る企業が数多くある。障がい者や企業からの就労相談を包括的に受け、能力や障がい特性に合った仕事や障害福祉サービス事業所との橋渡しを行い、その後も就労を継続できるようフォローアップを行うことで障がい者の就労、社会参加の促進を図る。	6,873,000	6,058,000	①就労相談件数 ②就労に結び付いた人数	①300件 ②10人	①513件 ②6人	潜在労働力の掘り出し(就労支援)	事業の継続	就労相談件数は、目標値を大きく上回り、事業のニーズが高いことが把握でき、相談支援の継続により就労を促進する手段の一つとして非常に効果的な事業と判断したため。	健康福祉部福祉課
8	①-(3)-③ 市内大学等インターンシップ事業	市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、学生が市内企業や地域に目を向け、将来、市内企業等で活躍できる人材を育成することを目的とし、市の各部署で3ヶ月(うち30日間)程度インターンシップ実習生して学生を受け入れ、就業体験実習等を実施する。	413,000	106,960	①インターンシップ参加学生数 ②インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	①10人 ②100%	①10人 ②100%	産業の担い手の確保・人材育成の支援	事業の継続	参加学生全員が事後のアンケートにおいて、将来、江別市や江別市内で働きたいと回答しており、事業実施により、就職先として学生の目を江別市内に向けることができたと判断できるため。	総務部職員課
9	①-(3)-③ 介護人材育成事業	住民の高齢化に伴う介護サービス利用の増加により、介護事業者の人材不足が顕著になっている。専門資格や一定の経験が必要なおことから、地域の若年者に対して、資格取得や職場実習の機会を提供することにより、市内介護事業所への就職と定着を図る。	11,458,000	10,893,915	介護職種への就職者数	10人	8人	産業の担い手の確保・人材育成の支援	事業内容の見直し(改善)	雇用環境改善に伴い、参加者の確保がより困難になっている。このため、平成28年度は期間を決めた一括募集を改め、定員に達するまでの逐次募集とし、参加者の増加を目指す。	経済部商工労働課
10	①-(3)-③ 高校生地域就職支援事業	市内高校の生徒の就職内定率は上昇傾向にあるが、市内企業への就職率は低い。就職で希望する高校生に対して職業講話や面接指導等による就職支援を行うとともに、市内企業へのインターンシップや企業説明会の開始等により、市内高校生の地元就職拡大を図る。	2,500,000	2,500,000	①インターンシップ参加者数 ②研修実施回数	①210人 ②13回	①271人 ②11回	産業の担い手の確保・人材育成の支援	事業の継続	平成28年3月卒の高校生の就職率(就職者数/就職希望者数)は90%台後半で高止まりしている。今後、市内企業の人材確保と早期離職対策の面から、インターンシップは重要となる。	経済部商工労働課
11	①-(3)-③ 有給インターンシップ等地域就職支援事業	当市には4つの大学があるが、卒業生の市内企業への就職率は極めて低い。市内大学の学生に対する有給インターンシップ等により、実践的なキャリア教育と地元就職の拡大を図るとともに、地域における労働力確保と将来を担う人材の育成を支援する。	11,770,000	11,364,430	有給インターンシップ参加者数	32人	40人	産業の担い手の確保・人材育成の支援	事業の継続	インターンシップ参加者数及び参加者アンケート結果は良好であった。就職活動前の大学1・2年生を主な対象としており、事業の効果が就職につながるまで数年間取り組む。	経済部商工労働課

基本目標① 計	76,920,000	69,791,117
---------	------------	------------

平成27年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生先行型)実績一覧

【基本目標② えべつへの新しい人の流れをつくる 12事業】						目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課
No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI				今後の方針	今後の方針の理由	
1	②-(1)-① 大学連携調査研究事業	市内大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。	3,020,000	2,954,033	補助事業数	4件	5件	大学の得意分野を生かした地域の活性化	事業の継続	市内大学の教員による専門的な見地から、地域課題の解決に関する研究提言を得ることが可能となる有効な事業である。	企画政策部企画課
2	②-(1)-③ 大学連携学生地域活動支援事業	市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。	330,000	291,421	補助事業数	5件	6件	学生の力を生かしたまちづくり	事業の継続	市内大学の学生が自主的な地域づくりの活動に取り組み契機となる有効な事業である。	企画政策部企画課
3	②-(1)-④ 学生地域定着推進大学連携事業	4大学1短大で、約1万1千人の学生がいるという特色を生かし、市内や近隣地域を含めた学生等、若い世代の就職、定住等地域定着のため、大学教員や関係機関の参画により、広域でのインターンシップや地域活動受入の仕組みづくりを行う。	1,079,000	405,043	参画団体数	14団体	19団体	地域と大学で連携した若い世代の地域定着	事業の継続	広域連携での学生地域定着に係る広域連携組織を立ち上げたため、上乗せ交付金を活用した後継事業を持って取り組みを発展させる。	企画政策部企画課
4	②-(1)-④ ～ようこそ！つながる「まち」と「学生」～学生地域自治体連携プロジェクト	本事業は、大学生に構成自治体に出向き、地域活動や地域企業等へのインターンシップに参加してもらうことを実践する。短期的には学生自身の社会経験・成長の場となり、また、若い世代の考え方や活力が地域に取り込まれることで、地域の活性化が促される。長期的には就職を考える大学生に対し、大都市圏にはない可能性あふれる人生の選択肢を提示し、今までにない新たな人の流れを作り出すことを目的とする。	2,761,000	2,660,676	事業参加学生数	50人(延)	112人(延)	地域と大学で連携した若い世代の地域定着	追加等更に発展させる	基礎交付による広域連携組織の立ち上げ、上乗せ交付(本事業)による試行事業の実施を経て得たノウハウを生かし、後継事業で学生の地域定着を広域的に実施していく。	企画政策部企画課
5	②-(2)-① 観光拠点施設新設事業	市内の歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場について、民間事業者による建物の保存・利活用に伴い、観光案内所を新設する。これを観光及び情報発信の拠点として運営し、江別市の魅力を直接、来訪者へ伝えることで観光入込客数を増加させる。	8,208,000	6,591,198	観光入り込み客数(旧ヒダ工場来訪者数)	10,000人	16,300人	地域資源の観光への有効活用	予定通り事業終了	施設整備が完了し事業終了。	経済部商工労働課
6	②-(2)-① 歴史的れんが建造物保存活用事業	やきもののまち・江別を代表する歴史的建造物である「旧ヒダ工場」を活用し、その文化的価値を活かし地域経済の活性化及び周辺に賑わいをもたらすアンテナショップを整備する。	12,057,000	11,896,876	アンテナショップ来客数	10,000人	16,167人	地域資源の観光への有効活用	予定通り事業終了	【アンテナショップ整備工事】整備は終了し、来客数増加に大きく寄与した。 【イベント委託費】集客に大きな効果があり、施設イメージ構築に寄与した。	経済部商工労働課

平成27年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生先行型)実績一覧

【基本目標② えべつへの新しい人の流れをつくる 12事業】						目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課
No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI				今後の方針	今後の方針の理由	
7	②-(2)-① 都市と農村交流事業	都市と農村の交流を推進するため、グリーンツーリズム関連事業(直売所・貸し農園・農産加工)を行う農業者の支援を行う。	492,000	492,000	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	427,000人	528,866人	地域資源の観光への有効活用	追加等更に発展させる	グリーンツーリズム関連施設の利用者増加につながり、農業者の6次産業化を支援することで、さらに効果が高まると判断したため。	経済部農業振興課
8	②-(2)-① 地域発見魅力発信事業	近隣市町村の住民を主なターゲットに、江別のまちの魅力を発見できるよう観光情報を発信し、観光客の市内入り込み数の増加を図る。	3,119,000	3,118,313	観光入り込み客数(旧ヒダ工場来訪者数)	10,000人	16,300人	地域資源の観光への有効活用	事業内容の見直し(改善)	更なる観光誘客・周遊促進のため、新たな媒体による観光情報の発信や集客周遊イベント等を図る必要がある。	経済部商工労働課
9	②-(3)-② 経済活動広報事業	フリーペーパーへの記事連載などにより、市内の経済・産業・企業を市民に周知し、市内産業や市内企業を応援する市民を増やすとともに、企業間連携のきっかけとする。また、雇用の増加につながるような切り口での紹介を実施する。	900,000	900,000	広報した産業・企業数	6件	6件	江別市に来てもらうための観光・産業情報の発信	事業内容の見直し(改善)	広報えべつの活用を検討。	経済部商工労働課
10	②-(3)-③ ウェルカム江別事業	子育て世代を対象に転入促進パンフレット・ホームページを作成し、江別の魅力を発信する。	2,640,000	2,581,200	特設ホームページのアクセス件数(年間ページビュー)	22,700PV	19,750PV	江別市に住んでもらうための生活情報の発信	事業の継続	インターネットを活用した情報発信は、移住を考えている子育て世代に対して有効な手段であるため。	企画政策部広報広聴課
11	②-(3)-④ えべつシティプロモーション事業(情報発信の仕組みづくり)	市外在住者をターゲットに、定住人口や交流人口の増加を目的として、一般市民や団体等が主体的に情報発信する仕組みづくりを行う。	1,269,000	1,023,662	①江別市の認知度の道内順位 ②江別市の情報発信力が高いと思う市民割合	①20位 ②41%	①21位 ②32%	江別市のイメージづくり	事業の継続	江別市の都市イメージが定着するよう、ターゲットを意識した継続的な取り組みが必要のため。	企画政策部政策推進課
12	②-(3)-④ えべつシティプロモーション事業(情報発信の人材育成)	市民が参加する情報発信の仕組みづくりとして、H27.6補正予算により、専門性の高い技術を身に付けた市民等、情報発信の担い手を育成することで、PR動画・エリア情報の不動産サイトとのリンク・江別産名物づくり・シンポジウムの開催等を実施し、市内外に向けて住民目線での長所を広くPRする。	934,000	993,600	江別市の認知度の道内順位	19位	21位	江別市のイメージづくり	事業の継続	情報発信の担い手となる市民は増えており、継続的な取り組みにより効果が望めるため。	企画政策部政策推進課

基本目標② 計	36,809,000	33,908,022
---------	------------	------------

平成27年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生先行型)実績一覧

【基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育てを支援する 1事業】						目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課
No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI				今後の方針	今後の方針の理由	
1	③-(1)-④ 男女の出会いの場づくりイベント開催事業	体験イベントや交流会を通じて、男女の出会いの場を提供するイベントを開催し結婚支援を推進するとともに、市のPRを兼ね、定住も促進する。	911,000	909,768	イベント参加人数	30人	106人	男女の出会いの場づくり	事業内容の見直し(改善)	当市が実施する初の婚活イベントであり、参加者等から高評価を得た。参加ニーズが想定よりも大きく、より、効果的に対象を絞り込んだメニューと回数により実施する。	企画政策部企画課
基本目標③ 計			911,000	909,768							

【基本目標④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する 3事業】						目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課
No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI				今後の方針	今後の方針の理由	
1	④-(1)-② 公共交通利用促進対策事業	人口減少と少子高齢化を背景に、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを行うため、駅周辺部におけるバス路線の再構築を行う。	18,338,000	13,616,274	公共交通の利用者数	548千人	554千人	交通ネットワークの充実	事業の継続	バスの実証運行による新規需要の開拓など、公共交通の利用者数が目標値を上回っていることから、バス路線の再構築による効果が期待できるため。	企画政策部政策推進課
2	④-(1)-④ 次世代災害対応力支援事業	災害時における避難所での授乳環境を整備し、有事の際にも安心安全な子育てが継続できる体制を構築する。整備後は、市民向けに周知を行うとともに防災訓練等で活用する。	1,100,000	1,033,770	安全安心に対する意識(防災訓練等において実施するアンケート結果)	60%	-	だれもが健康的に安心して暮らせるまちづくり	事業の継続	避難所の環境整備についての対象範囲をさらに広げ、より多くの市民に対して周知すると共に、防災訓練等で積極的な活用を継続する。	総務部危機対策室
3	④-(1)-④ リズムエクササイズ推進事業	市民の健康づくり活動を市民協働による取り組みにより推進するため、誰もが楽しみながら参加できる音楽に合わせて有酸素運動と筋力トレーニングを行う市独自の運動「リズムエクササイズ」を制作し、地域人材の育成として市民インストラクターを養成する。	911,000	846,560	①市民インストラクター養成人数 ②普及講習会参加人数	①30人 ②400人	①15人 ②1,352人	だれもが健康的に安心して暮らせるまちづくり	事業の継続	目標を大きく上回る講習会参加者数であり、運動による健康づくり活動に非常に効果的であると判断したため。	健康福祉部保健センター
基本目標④ 計			20,349,000	15,496,604							

No	事業名称	事業の概要:目的	計画額(円)	実績額(円)	事業KPI	目標値	重要業績評価指標(KPI)実績値	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け	実績値を踏まえた事業の今後について		主管課	
									今後の方針	今後の方針の理由		
1	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	豊かな自然環境と程よい都市機能が調和した快適な住環境、4大学1短大を有する学術都市、豊かな農畜産物と大学等の研究機能を生かした食関連産業推進等の本地域の特色を踏まえ、子育て支援や若い世代の定着推進による良質な雇用の創出と人口還流の加速による好循環を生み出す「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	9,116,000	9,107,720	-	-	-	-	予定通り事業終了	-	企画政策部企画課	
その他			9,116,000	9,107,720								
全体合計			144,105,000	129,213,231								